

当日資料 2

令和5年度 第2回高齢者福祉部会 会議内容概要

と き	令和5年10月26日(木) 14:00~15:10
ところ	近江八幡市総合福祉センターひまわり館 1階ホール
出席者	塚本部会長、中谷委員、岡田委員、東森委員、大西委員、谷委員、岩越委員、岡山委員、中村君枝委員、森田委員、安部委員 (11名)
欠席者	西川副部会長、高橋委員、中村公彦委員、石黒委員、森村委員
傍聴者	なし
事務局	長寿福祉課
議事事項	<p>○報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第9期近江八幡市総合介護計画の体系について <p>○審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第9期近江八幡市総合介護計画での取り組み内容について
内 容	<p>○報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第9期近江八幡市総合介護計画の体系について(事務局より説明) <p>○審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第9期近江八幡市総合介護計画での取り組み内容について(事務局より説明) <p>* 主な意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域協働による支え合いのしくみづくりについては、通いの場の担い手だけでなく、課題やボランティアの活動状況に合わせながら、高齢者の生活を支える担い手の育成が大切である。 ・家族介護者支援を充実していくには、介護支援専門員と地域包括支援センターが役割分担をしながら連携していくことが大切である。家族のストレスは地域包括支援センター、ご本人へのアセスメントについては介護支援専門員というように、それぞれが役割分担を図っていくことで、より円滑な在宅生活を目指していく方がより適切である。また来年度に近江八幡市で実施される重層的支援体制整備事業と

当日資料 2

の連携が必要になる。

- ・住民主体の活動や活動の場等への支援について、高齢者が地域で役割を持ち、社会参加や活躍を促進するための有意義な活動が実施できるよう、色々と活動をされている団体に支援や連携が必要である。
- ・高齢者福祉サービスや認知症高齢者見守り支援の周知については、介護支援専門員や民生委員等と連携し、広く周知するための仲介者が必要である。